

# はくがくニュース No.5

## とっとりしまいぞうばんがさい 鳥取市埋蔵文化財センターって、どんな仕事をしているの？



松原10号墳調査の様子



ためし掘り



石列の発出



土器の発出



図面記録



ラジコンヘリによる上空からの撮影

鳥取の昔の姿はどんなふうだったのでしょうか？

昔の人たちが残したもの（遺跡、出土物）から過去の暮らしを探ることができます。発掘するのは、それを調べるためです。

発掘して、地面の下に埋もれている遺跡や遺物を、記録し、保存して、伝えます。このような作業の積み重ねによって、鳥取の歴史が少しずつ明らかになっていくのです。鳥取市埋蔵文化財センターは、そういう仕事をしています。

実際に仕事をしている様子をごらんください。

遺跡はどうして地下に埋もれているんだろう？

昔の家の跡や土器を見ながら当時の様子を思い浮かべてみよう

### 屋内で

- 水洗い、注記、接合、復元など出土品や記録類の整理をします。
- 調査の成果を報告書にまとめます。



水洗い



注記



接合



調査報告書

### 屋外で

- まず、ためし掘りをして遺跡の状況調べます。調査前の姿を写真や測量で記録しておきます。
- 道をつけたり、表土を取り除いたりして、掘るための準備をします。
- 掘り下げて見つけた穴や溝などの土をていねいに取り除いていきます。
- 出てきた土器や石器などを慎重に掘り出します。
- 現地穴や住居跡などの図面や写真を撮って、記録します。

## 鳥取ではいつから人が住むようになった？

鳥取市埋蔵文化財センター 谷口恭子

鳥取市歴史博物館やまびこ館では、常設展示をリニューアルし、縄文時代から現代までの鳥取の歴史を紹介しています。鳥取市埋蔵文化財センターは、その中の先史（縄文・弥生・古墳）時代の展示を担当しました。

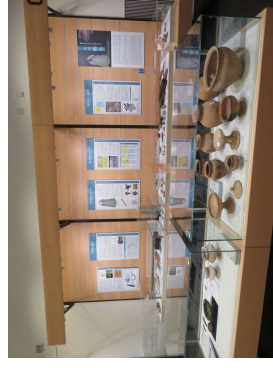
展示資料の選定にあたって、鳥取市内各所の収蔵庫にコンテナおよそ1万箱にもおよぶ考古資料が保管されていることがわかりました。50年あまりにおよぶ市内の発掘調査の蓄積はどれも貴重な資料ばかりで、どの資料を展示するかで大

いに悩みました。

新しい常設展示では、こうした実物資料と解説パネルで、それぞれの時代の様子をお伝えすることができます。

鳥取ではいつから人が住むようになり、どのような遺跡があるのでしょうか。知りたくありませんか？

やまびこ館へぜひおでかけ下さい。



やまびこ館常設展示 [弥生時代]

（鳥取市埋蔵文化財センターでは、展示はしていませんのでご注意ください）



現地説明会（面影山74号墳）

### 現地説明会

- 現地説明会を開き、発掘でわかったことを一般の人に伝えます。